

山口県立下関双葉高等学校

学校概要

- 平成31年4月開校
- 2部制の多部制定時制（昼間部・夜間部）
- 総合学科（普通系列・工業系列・商業系列）
- 令和2年8月下関総合支援学校高等部が移転・併置
※生徒数125人（R3.12.1現在）



研究テーマ

基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の醸成を意識した授業展開・学習指導の在り方

実施内容

- ◆ 使用した測定ツール
進路マップ 基礎力診断テスト（Cタイプ）（ベネッセコーポレーション）
- ◆ 3年間の主な取組内容

年次	時期	内 容
令和元年度	4月	・基礎力テスト（1年次生対象、国・数・英、学校作成）
	5月	・第1回学力向上委員会（研究推進の方向性の確認）
	7月	・「高校生のための学びの基礎診断」実施
	9月	・第2回学力向上委員会 （受検結果の分析、岡山大学教授による講義及び指導助言）
	11月	・先進校視察（岡山県立鳥城高等学校）
	12月	・第3回学力向上委員会（先進校視察の報告）
令和2年度	5月	・基礎力テスト（1年次生対象、国・数・英、学校作成） ・課題テスト（2年次生対象、国・英、学校作成）
	7月	・第1回学力向上委員会（研究推進の方向性の確認） ・「高校生のための学びの基礎診断」実施
	10月	・第2回学力向上委員会（受検結果の分析） ・第3回学力向上委員会（現状分析と今後の方針）
	12月	・第3回学力向上委員会（現状分析と3年間の総括）
令和3年度	4月	・基礎力テスト（1年次生対象、国・数・英、学校作成）
	5月	・第1回学力向上委員会（研究推進の方向性の確認）
	7月	・「高校生のための学びの基礎診断」実施
	10月	・第2回学力向上委員会（受検結果の分析）
	12月	・第3回学力向上委員会（現状分析と3年間の総括）

※ 令和2年度、3年度はコロナ禍のため先進校視察等未実施



★「高校生のための学びの基礎診断」実施の様子

◆ 実践研究

◎現状把握

- ・義務教育段階の学習内容が身に付いていない生徒が多数在籍

◎授業改善

- ・本時の「ねらい」を明確にする
- ・「(自分で) 考える」「(他者と) 話し合う」時間をつくる
- ・「教員はカウンセラー」⇒「生徒が学ぶ」

◎成果

- ・授業に対する生徒の高い満足度
- ・進路実現 (卒業生のほぼ全員が希望の進路を実現)



★学力向上委員会における研究協議

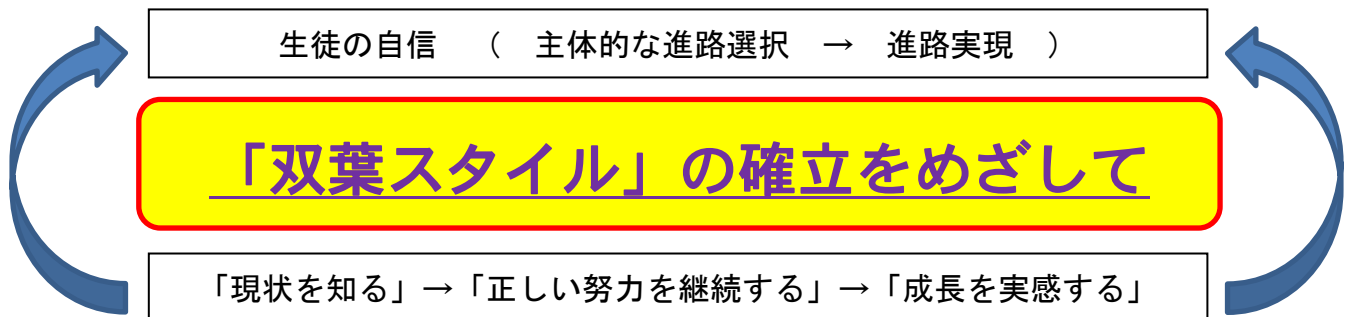


◆ 実践研究成果の継続的な活用手法

「わかる・できる」を「もっと学びたい」につなげ、「基礎学力を育成」

※就職先で活躍することができる力

※進学先で学び続けることができる力



教員の支援

- ◎客観的なエビデンスを示し、理解させる。
- ◎個別最適化された学びを提供する。
- ◎努力が評価される仕組み、体制を構築する。

